

まだまだ残暑は厳しいですが、空気に少しずつ秋の気配も混ざり始めました。暑かった夏の疲れが出ないよう、体調には気をつけましょう。今月号のテーマに取り上げるのは、八尾の名産品『歯ブラシ』です。今では国内シェアの4割を担うまでになり、八尾市には欠かせない地場産業です。名産品になるまで、どんな道程があったのでしょうか。河内木綿の生産との意外な繋がりも含めて、ご紹介します。

シリーズ
図書館でめぐる郷土
～八尾市史編～

第二十四回 『八尾の歯ブラシ』

近鉄八尾駅の中央改札口を下りると噴水広場があり、銀色のモニュメントが設置されています。このモニュメントは、『歯ブラシの生産高日本一』を記念して2005年に建てられたものです。歯ブラシの国内生産量は年間およそ5億本にもなりますが、そのうち4割程度が八尾市内で作られています。八尾の歯ブラシが地場産業として発展し、定着した背景には河内木綿が関係しています。

河内地方では江戸時代から綿花の栽培が盛んで、それらの綿花を材料にした河内木綿の生産が農家の副業として栄えていましたが、1896年に綿花輸入関税が撤廃され、綿農家に決定的な打撃を与えました。畑をつぶしてしまう農家が相次ぎ、仕事を失った河内木綿の職工たちは泉州路へ働きに出てしまいました。そこで綿農家の副業として普及したのが、ブラシの植毛作業でした。

元々、歯ブラシ製造は上町や鶴橋界隈で盛んに行われ、当時の製造方法では全部で17ほどの工程がありました。当初はすべての工程が一つの工場内で行われていましたが、最後に毛をつける『植毛』は、時間のかかる手作業であったため安い労働力が求められ、八尾など大阪都心の周辺地域に植毛の工程が移されました。市域に工場が設けられ、歯ブラシ製造は急速に広まっていきました。八尾市に植毛工場ができたのは、八尾地方の交通の便の良いことが挙げられます。こうした八尾の綿農家と、大阪市内の歯ブラシ業界の利害が一致したことから、“八尾の歯ブラシ”の道が拓けました。

現在、歯ブラシがどのように作られているかご存知でしょうか。楠根町に工場のある、三和^{さんわ}歯^は刷^ぶ子^し工業所^{こうぎょうしょ}を例に紹介します。

最初の工程は『柄の製作』です。プログラムに従って熱で溶かされた樹脂が型に流し込まれて柄が出来上がります。次に柄の先に空いた穴にナイロン製の毛を植える『植毛』に移ります。昔は手作業でしたが、今は機械によって24個の穴に2秒足らずで毛を植えることができます。最後は『毛切り』と呼ばれる工程です。植えた毛先を揃え、口の中を痛めないよう砥石で丸くなるように磨きます。そして10人の検査員の目で1本ずつ検査が行われ、包装されてから出荷されます。ちなみに三和歯刷子工業所での不良品率は100万本のうち1本以下とかなり低く、八尾の歯ブラシの品質の高さが窺えます。

【写真】歯ブラシの生産高日本一記念モニュメント



参考資料

『Wao!Yao!八尾の入口』2013年3月 八尾市の魅力満載BOOK 製作委員会/編集
『八尾市史 民俗編』2019年3月 市史編纂委員会/編集
『木綿サイクルの衰退と復活』2020年7月 前田啓一/著

9月のTopics



システムが新しくなりました！

令和3年4月1日より、新システムを導入しました。システムが変わって追加された便利な新機能がたくさん。前号で掲載しきれなかったものを引き続きご紹介します。

❖ OPAC^{オパック}(蔵書検索機)

特集資料

八尾市内の図書館は毎月、各館内に特集コーナーを設け、テーマに合った資料を展示しています。OPAC から特集コーナーに展示されている本の一覧から資料を探せるようになりました。メインメニューの「一覧から探す」の中に「特集展示から探す」という項目がありますので、そちらから資料が探せます。展示テーマは毎月変わります。お楽しみに！



❖ インターネットサービス

返却お知らせメール

借りている資料の返却日が近づくと、メールでお知らせする機能ができました。「利用者情報変更」のページの一番下に「返却お知らせメールを受信する」という項目があります。選択するとご登録のメールアドレスにお知らせメールが届きます。返却だけでなく、延長のし忘れも防げます。是非ご利用ください。

My 本棚

自分が読みたい本、読んだ本、借りた本のデータを三つの本棚に分けて、保存することができます。本を検索し、資料の画面にある「My 本棚に追加する」というボタンをクリックすると、追加できます。名前は本棚ですが、CD や DVD に対しても使えます。気兼ねな読書メモとして是非、ご活用ください。



今月の一冊はコレ！



「九月が永遠に続けば」

(資料コード:710847146)

著：沼田まほかる／出版：新潮社

あるときから主人公の主婦、佐知子の周りで1人息子の失踪や、別れた元夫の娘の自殺など、不穏な事件が相次ぎます。何故か息子の同級生の父親、服部とともに失踪した息子を探すことになった彼女がたどり着いたのは…。

人の心の暗部を容赦なく描いた長編ホラーサスペンス。読んだ後は謎めいたタイトルとともに、物語の鮮烈なインパクトが残ります。秋の夜長のお供に是非どうぞ。



編集・発行

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね！してください。

